

2023年8月末現在  
組合員 4,343人  
出資金 1億6,690万円  
7~8月の動き  
組合員 新規加入14人  
脱退28人



西濃医療生活協同組合

医療生協



第136号

2023年9月10日発行

(奇数月発行)

〒503-0982 大垣市久徳町153-1

TEL 0584-92-3268

ホームページ seinou.coop

編集 機関紙編集委員会

# 戦後78年

## 「核兵器のない平和な日本を」の

### 願い実現をめざして

8月15日、終戦78年を迎えました。戦後、日本は戦争をしない国として歩んできました。しかし、昨年末、タレントのタモリさんの言葉「新しい戦前になるんじゃないですかね」が注目されたように、今、日本は平和か戦争かの岐路にあります。憲法前文に記された「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにする(原文のまま)」ための決意が問われています。

今年も7月から8月にかけて おとなの平和広場」がサイトで平和の企画が各地で取り組 ビアセンターで行われ、8月9日には「平和の鐘を響かせました。毎年7月下旬に開かれる 9日には「平和の鐘を響かせた会」と不破支部が合同で、「原爆と人間展」「子どもと 垂井町府中の清蔵寺にて鐘撞きと平和の祈りコンサートを開きました(本紙6頁詳報)。



このほかにも、国民平和大行進や原水爆禁止世界大会などに参加しました。

4年ぶり復活の「健康まつり」を開催  
10月22日(日) 13時 大垣市西部研修センター

詳しくは折込みチラシをご覧ください

## せりゅう

リッター200円が目前と言われる昨今、政府は9月末で終了する予定だったガソリン補助金を年末まで延長すると表明しました。が、以前から不思議に思っていたこと、なぜ「ガソリン代トリガー条項」を発動しないのか、なぜガソリン税に消費税がかかる「二重課税」がまだ通っているのかということ▼

自動車を運転する人の多くがお世話になっているJAFが政府・関係機関に改めて強く要望するとして、①ガソリン税等に乗せられ続けている「当分の間税率」の廃止、②ガソリン税に消費税が課税されるといふ不可解な仕組みの解消、という声明を発表しました。このほか、マスコミでもネット上でも「トリガー条項」と「二重課税」の言葉をよく見かけるようになりました▼「トリガー条項」は2010年の民主党政権のときに導入されました。ガソリンにはたゞさんの税金がかけられています(リッター180円の内訳は本体価格107円、ガソリン税等約57円に消費税16円)。ガソリン税は「本則」約29円と「暫定」約25円になっています。トリガー条項とは、この「暫定」税である25円を課税しないとするものです▼「暫定」とは一時的という意味のもので目的を達成すれば廃止されるものでしょう。この暫定ガソリン税の導入は、今から遡ること49年前の1974年度に道路整備5か年計画の財源不足への対応のためでした。しかも、当初の使用目的からはずれ、今は「暫定」ではなく「特例」という名称に変わり、一般財源に充てられているのです。「トリガー条項」には3か月連続でリッター160円を超えた場合という条件がありますが、これだけの問題をもつ暫定(特例)ガソリン税は、条件抜きで廃止すべきでしょう。付け加えて、税金に消費税をかける二重課税は国税庁がなんと言おうが、納得できるものではありません▼ガソリン税への怒りがおさまらず紙面を割いてしまいました。物価変動を反映させた実質賃金は、15か月連続で前年を下回っています。物価高騰は日常生活全般にかかっており、実際、個人消費が落ち込んでいます。岸田首相の「聞く力」その耳に国民の声は届くのでしょうか。

組合員活動部長 松岡和彦

# 健康保険証は廃止しないで

政府は、マイナ保険証一体を進めるために、来年秋に現行の健康保険証を廃止することを決めました。

## 「健康保険証廃止」なんてあり得ない3つの根本的問題

### ① ひも付けの誤りによる危険

マイナンバーカードをめぐる相次ぐトラブルを受けて政府は総点検を実施

\* マイナ保険証のひも付けの誤り、新たに1069件増え8441件になった。

\* 「協会けんぽ」（全国健康保険協会）では、4000万人いる加入者の1%に当たる約40万人について、マイナン

バーと公的医療保険情報のひも付けができず、マイナ保険証が利用できない状態になっていることが明らかになった。

すでに、70歳以上患者の負担割合の間違いが発生し窓口でのトラブルが続出している。

② マイナ保険証は5年ごとの更新が必要。更新申請を忘れると無保険になる危険

現在の健康保険証と違い、マイナ保険証は、5年ごとに電子証明の有効期限に合わせ更新手続きが必要。申請を忘れたり、処理が遅れると「無保険」になる期間が生じる。

### ③ コンピューターやインター

本紙前号で「健康保険証を廃止しないことを求める請願署名」にご協力を呼びかけました。わずか1か月余りで、700筆を超える署名が届けられています。その署名に手紙が添えられていたので紹介します。

毎年7月半ばに送られてくる健康保険証は、私の命綱です。これを廃止するなどんでもないことです。申請しなくとも行政から送られてくる、これほど安心な仕組みはありません。年を重ねるうち申請できなくなっても、これなら安心です。今なぜ年寄りを不安に陥れる制度をつくる必要があるのか。一体何のために誰のためにこのような政治が行われるのでしょうか。今の健康保険証は守り抜きたいです。

林 嘉道



神戸支部は、健康保険証廃止又トップのミニ学習会を3回開催

## ネットにつきもののシステム障害リスク

マイナ保険証は、医療機関の受付に設置された顔認証システムを使うが、それには専用パソコン、インターネット、電子カルテ用パソコンへの接続が必要。パソコン自体や接続に不具合が出れば正常に動かず、認証そのものができなくなる。このため、マイナ保険証を利用している方に、保険証を併せて持参することを、厚労相自身が推奨している。

マイナンバー制度は「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づき2016年に導入されました。現在は日本に住民票をもつすべての方に識別番号が振られている。

ます。一方、マイナンバーカードをつくるかどうかは個人の自由とされています。

このように任意であって義務ではないマイナカードを、国民皆保険となっている健康保険証と一体化させること自体に無理があると考えるのは当然のことです。

マイナカードを持たない方も付けていても健康保険証とひも付けされない方などには、「資格確認書」を発行するようになりました。

この「資格確認書」、当初は有効期間を最長1年としていましたが、5年間に延長する。申請が必要としていたのを申請がなくても保険者が発行できるようにするなど、次々

に対応策を変えました。このほか、特定の方むけに暗証番号なしの（マイナカード機能を持たない）マイナ保険証を発行する、マイナ保険証に対応できない医療機関への受診のために「資格情報のお知らせ」を送付する、など。

あくまで来年秋廃止の姿勢を変えない政府ですが、政府の行き当たりばったりの対応に、「余分な経費を使わなくても現行の保険証を継続すれば済むこと」「もっと時間をかけて検証することが必要」など廃止ストップ・延期を求める声が広がっています。

現行の保険証存続が決まるまで、引き続き署名に取り組みましょう。

## 4年ぶりの開催にむけて健康まつり実行委員会発足

4年ぶり開催にむけ、今年の健康まつりの開催内容について協議しました。

新型コロナウイルスが5類感染症へ移行されたとはいえ、予断は許さない状況が続いており、開催時間は午後1時から4時までとすること、

これまでの出店での食事提供は行わないこととし、健康まつりの名にふさわしく、健康班会の紹介や講座など、健康づくりの輪を広げていく企画とすることにしました。

みなさん誘いあって、ご参加ください。

(詳しくは本紙折込みのチラシをご覧ください)

事業紹介

しずさと介護支援センター

「しずさと介護支援センター」は、要支援、要介護の認定を受けた利用者様とその家族様の思いや困りごとを聞き取り、適切な介護サービスを受けられるようにサポートする「ケアマネジャー」が所属する事業所です。

ケアマネジャーは5名（そのうち主任ケアマネジャー3名）が在籍しています。

主な介護保険業務

ケアマネジャーの主な業務は次の通りです。

◎必要な介護サービスを受けられるようにケアプランの作成と連絡調整を行います

要支援・要介護認定を受けている利用者様と家族様の意向・要望に合わせ、訪問介護・訪問看護・リハビリ・デイサービス・ショートステイなどのケアプランを作成します。

◎お住まいの市町の役場へ、要介護認定の申請代行を行います

要介護認定を受けておらず、かつ介護サービスを希望される場合は状況に応じて相談者（本人様・家族様等）に代わって自治体へ要介護認定の申請を行います。

◎このほか

介護施設をお探しの方には紹介も行っていきます。

しずさと診療所との連携により、受診している患者様の介護相談にも応じています。

また、毎朝のミーティングや事例検討会、各自治体・関係団体主催する研修への参加、診療所とのカンファレンス、組合員や地域住民を対象とした介護講座・認知症サポーター養成講座等の講師活動を通じて、日々自己研鑽と地域のための業務に励んでいます。

こんな相談にも対応

ある日突然、家族の介護が必要になった。どうしよう…。例えば  
・もの忘れがひどくなった。  
・転倒してから思うように動けなくなった。

もつすぐ退院しないといけない、でも自宅での生活は不安。

認知症と診断された。

など…。介護の必要な方々に、住み慣れたわが家で、暮らし慣れた地域で安心して生活していただくために、「こんなときはどうしたらいいのだろう」「こんなこともできるのかな」などの相談に

わかりやすく丁寧にお答えします。

問合先

住所

大垣市検町1452番地

介護センターしずさと内

営業日・営業時間

月～金 8時30分～17時30分  
土 8時30分～12時30分

休業日

日曜・祝日、お盆、年末年始

事業実施地域

大垣市、垂井町、神戸町、安八町、輪之内町、養老町、池田町、瑞穂市にお住まいの方。

対象者

・要支援、要介護認定を受けている方

・介護サービスを利用したいと検討している方（介護保険の申請からお手伝いします）

連絡先

0584（93）1171まで  
お気軽にご相談ください。

今後も、西濃医療生協の一員として、組合員や地域の皆様と一緒に、いつまでも住み慣れた場所で最期まで自分らしく安心して生活が送れるような地域づくりに貢献していきたいと思えます。

管理者 木村 航

しずさと診療所

新型コロナワクチン接種のご案内  
（詳しくは、各自治体の案内をご覧ください）

秋冬期接種期間

2023年9月20日～2024年3月31日

接種対象者

12歳以上で3回目接種以上の方（当診療所では11歳以下の方の接種は行っていません。ご了承ください）

9月の接種日

9月21日（木） 17時～18時  
9月23日（土・祝） 9時～11時  
9月28日（木） 17時～18時  
9月30日（土） 14時～16時

※10月以降は、予約状況により追加していきます。

予約方法

①インターネット しずさと診療所ホームページから予約ページにアクセスしてください。

<https://seinou.coop/shizusato/>

②予約専用電話（受付時間：平日14時～17時）  
070-1586-9570

※診療所への電話や来院での予約はご遠慮いただきますよう何卒ご協力お願いします。

インフルエンザワクチン接種

10月中旬以降から開始予定です。詳しくは、別途お知らせしますので、しばらくお待ちください。なお、当診療所では、インフルエンザワクチンとの「同日接種」は行っておりませんのでご了承ください。

第2回スクエアステップ体験

& 交流会を開催

医療生協では、毎月18のスクエアステップ班会が行われ、約200人の方々が参加されています。もっと多くの方に参加してもらおうと、体験会として、また、班会の交流として、開催しています。

第2回は、7月12日神戸町ふれあいセンターで開催し、17人が参加しました。地元の神戸支部として不安もありましたが、班会参加の組合員のほか、未体験の方にも呼びかけました。新しい人も来てくださって、参加の皆さんが笑顔で楽しく体験してくださり、喜んで帰られました。

今後、いろいろな地域でスクエアステップを進めていき、皆さんにスクエアステップの楽しさを体験していただき、班会参加と新しい班づくりが進むことを願っています。

神戸支部・柴田秀子

初めてのスクエアステップ

初めて聞く運動でしたが、主人の知り合いの柴田さんから誘いがあり参加しました。

73歳の今は毎日が日曜日です。



ブラしていたためか、腰が痛く足もしびれ、主人に抱えられながら病院へ。腰部脊柱管狭窄症と言われました。「年寄りがかかると病気がかかるとか。」

頭がガーン。自分自身若くはないが、いざズバリ言われるとショックでした。私が年寄り？無理もないか。70歳超えているのだから。そう思えて何か運動しなければと歩き始めたが、毎日1時間も続きません。1人でやる難しさに直面しました。そんな時、タイミング良く声をかけてもらい興味津々覗かせていただきました。

最初は「私にもできるのかな？」なぜならば体も使い頭も使う、中身が詰まった運動だと思ったからです。でも、皆さん、楽しそうにやっていましたし、私自身も時間があったという間に過ぎて楽しめました。こんな私ですが、皆さんに指導していただき続けたいので、よろしくお願ひいたします。

森田かよ子

西濃南部支部

伊吹山観覧会を企画して

昨年雨天で実施できなかった、サラシナショウマの花をぜひ観覧したいと、8月18日に計画しました。だが、台風の影響が残っていて22日に延期して実施。参加者は3名となりましたが、関ヶ原駅のバス停で9時半に乗車。ドライブウエー駐車場に10時20分到着。霧が立ち込め、風が吹いていて肌寒い日でした。だが、ときおり霧が晴れ琵琶湖の竹生島もはっきりと見えま

した。山頂に向かう途中で高山植物に詳しい人に出会い、コイブキアザミやオトギリソウの話聞くことができました。念願のサラシナショウマはたくさん観覧できましたが、少し遅かったようです。期待していたトリカブトの花はどこにも見当たりませんでした。何度も来ているのですが初めての経験です。温暖化の影響でしょうか？

山頂で昼食をとり、東登山コースで下山しました。駐車場に到着。下方の林の中に、のんびりと草を食べる2匹の鹿を発見。複雑な思いで、午後2時半のバスに乗り帰路につきました。

田中信義



投稿

ある日突然障がい者

今から9年前のクリスマスマスイブに脳出血で倒れた。3か月意識がなく明日の命はないから諦めてください、意識が

戻ってもまず植物状態ですから、今までどおりに会話ができませんとは思わなくて、3か月と、家族には医師から伝えられた。絶望。

なんとか命をとりとめ意識も戻るが記憶があいまい。あいつえお、かきくけこも分からない。

ある日、記憶がいつきに戻った。記憶が前後しながら徐々に正常になっていった。そして働き先をハローワークで探して、(株)ネクステージに就職した(平成27年3月)。

最初は杖を使用していたが、

今は杖なしで歩いている。働くこともリハビリになっている。

今、自分が働いている現場には身体・精神・知的障がい者がいて、みんな助け合っていて働いています。障がい者だからといって働くことを諦めないでください！この会社はリハビリにも理解があるので安心して働いています。

働きたいが障がいのため働き先が見つからない方、一度私までご連絡ください!!

林 隆義

電話 090-3586-5464



健康委員会

「慌てないで！救急救命」

8月6日(日)介護センターしずさにて、講師に大垣市消防組合中消防署分駐所、救急救命士の林英路さんをお迎えしてお話をうかがいました。19名の参加でした。

まず、最初に「救急車を呼んだことのある方？」と聞かれ、何人かが手をあげられました。そして呼んだ時の状況についてお2人に尋ねられました。お2人がそれぞれその時の様子を話されると、救急車を呼んだことはよい判断であったとコメントされました。

100分超のお話で、資料も盛りだく



さんで色々お話を聞くことができました。転倒事故の原因として段差につまずく、脚立の好ましくない使い方等々。

高齢者の家庭内溺水(入浴)事故は「生存率0%」、救命できない事故の象徴とのことでした。入浴時の注意事項としていくつもありましたが、入浴中気分が悪くなったら「風呂の栓を抜く」。自分としてはまったく気がつかないことでした。

そして「どんな時、救急車を呼ぶの?」というところで、心疾患(死因第2位)、脳血管疾患=脳卒中(同第4位)の症状のお話をうかがいました。そして脳梗塞については、平成12年によい薬ができて「時は脳なり」で、一刻も早く治療ができればよくなるというお話でした。

あてはまる症状が少しでもあれば、躊躇することなく救急車を呼ぶことの大切さを改めて実感しました。

また、参加された方の自宅前での貴重な救急救命のお話も聞くことができました。

最後にライブ119を実際に体験してみようというところで、想定に沿って始まりました。しかし通信環境の不具合等もあり、その効果を実感するところまではいきませんでした。それでもAEDの使い方、オートショックAEDの登場について知ることができました。あっという間に時間が過ぎました。ありがとうございました。

K・T

不破支部

スマホ教室に参加して

7月31日垂井町の府中地区まちづくりセンターで行われた「不破高校生によるスマホ教室」に参加しました。15名の参加者に先生役の不破高校生12名で、ほぼマンツーマン授業でした。日頃のスマホの悩みを質問して答えを教えてくださいいただきました。

孫のような子たちと話をするのはとても楽しかったです。その上、年寄りの脳トレにもなり、願ったりかなったりで主催者に感謝です。私たち夫婦も「LINE」でわからないことがあったばかり、これ幸いに質問して答えをいただき、助かりました。また一歩、夫婦和合に前進です。

最後に、垂井町役場で開催される原

爆展のお知らせがあり、ロシア、ウクライナのことが思い出され、平和という二文字がいかにか大切に改めて心に刻みました。この高校生たちの将来もずっと平和が続くことを願いながら、お礼の図書カードを手渡しました。

休憩ではお茶と差し入れのお菓子をおいしくいただきました。室 昌夫



NPO西濃たすけあい

第2回通常総会を開催

7月23日(日)しずさと診療所待合室にて、第2回通常総会を開催し、1年間の活動報告と今年度の方針提案を行い、意見交換を行いました。

生活支援、福祉有償運送ともに前年度を上回る利用で、担い手も増えましたが、心えきれない利用でした。

事業収支も相当改善されましたが、寄付金なしでは赤字が生じる状況です。利用要望に応えきれ

る体制(担い手の拡充)づくりを進めるとともに自治体助成制度の新設を求める運動を強めていきたいと考えています。

「最初から親切丁寧で助かっていきます」「交通不便な地域で感謝しています」など利用者の声が紹介され、私たちの活動の必要性をあらためて実感する場になりました。

入会、寄付、担い手など、たすけあいへの支援をお願いします。松岡

不破支部

平和の祈りコンサート

8月9日、垂井町府中の清蔵寺で「平和の祈りコンサート」を開き、24名が参加しました。



関ヶ原のコーラスグループ「ブレンディ」が最初に「折

り鶴」「ノーモアウオー」、清蔵寺の羽澄如子さんが作詞作曲した「この町から」などを披露しました。その後で「いぶき座」が登場し「戦争を知らない子どもたち83」、いぶき座の寺倉和子さん作詞作曲の「あなたに伝えたい」などを歌われ、地元の地名が登場する曲に胸が詰まる思いでした。最後にみんなで笠木透さんの「あなたが夜明けを上げる子どもたち」を手話付きで歌いました。蒸し暑い日でしたが、さわやかな歌声が心にしみました。

長崎原爆がさく裂した11時2分に鎮魂と平和への祈りを込めてみんな交代で鐘を撞き、それから、広島、長崎と二重被爆体験の山口彊さん取材したドキュメンタリーDVDを観ました。以前、お聞きした満蒙開拓団の体験談に続き、映像からはありましたが、被爆者の方の生々しいお話を聞き、恐くてむごくて悲しくて、言葉では言い表すことができないくらい心が痛みました。今の生活が送れるのは本当に幸せなことだと、戦争の話を聞かたびに思います。今回、初めて参加した平和の鐘、皆さんが平和への思いを込めて撞いた鐘の音が世界へ届くことを願います。

北村美世子

西濃ピースフェスティバル 2023 平和を語り継ぐ夏

7月29、30日、スイトピアセンターで、岐阜県被爆者の会主催の「原爆と人間展」、西濃ピースフェスティバル「子どもとおとなの平和広場」を開催し、240人の来場者がありました。

当日は広島で原爆を体験された加田弘子さんが9歳の目で見聞きした体験を語ってくださいました。被災された多くの人が茫然自失の状態であ



り、加田さんに直接質問して熱心に聞いている中学生の姿もありました。

どうしても行きたいという5年生の息子に連れられて来たお母さん、6年生の姉と2人の弟連れの母子は、家でももう一度平和について話し合

いていたこと、ご自身も放射能とも知らずに黒い雨に打たれたことなど。終了

後、加田さんに直接質問して熱心に聞いている中学生の姿もありました。今年、チラシを小学校に加えて、全中学校にも配布しました。実行委員で元中学校教師の山岸さんが「ぜひ中学校でも原爆パネルの展示をしませんか?」とお誘いしたところ、小学校1校、中学校6校が実施、検討するという学校も2校ありました。日ごろは

忙しい先生方も機会があれば子どもたちに伝えていきたいという思いをお持ちだと感じ、市民として協力する方法があることを学んだ経験でした。 寺倉和子



赤坂支部 米寿のお祝い

7月6日に高齢者に優しいヨガ班会を行い、12人が参加しました。これまでも班会では米寿のお祝いをしてきましたが、小山さんに続き今回古田和代さんが米寿を迎えられ、皆さんでお



花を贈り、ささやかなお祝い会を行いました。

古田さんはお元気で毎日朝のラジオ体操をはじめ班会や踊りや体操のサークルにも出かけられています。

ヨガ班会では、小山さん、古田さんを目標にして私たちも頑張ろうと話合せて、元気をもらっています。

健康サロン

「熱中症にならない健康生活」 7月20日、猛暑による熱中症が大きな問題になる中で、熱中症対策について、大垣保健センターから宮田祐佳保健師を招いてお話を聞きました。

脱水とはカラダから体液（水と塩分などの電解質）を失うことです。年齢と共に体液の割合が減少し脱水症になりやすくなります。

熱中症は脱水により体温調節機能が失われ、さまざまな症状が出る病気。脱水症のサインを見逃さず、規則正しい食生活と水分補給をしましょう。水分補給を行うタイミングは「のどが渇く前」が理想的ですよ。等々学びました。猛暑のため熱中症で救急搬送されたり亡くなる例が多い中で貴重な講座になりました。

宇津時雄

西濃医療生協で、一緒に働く仲間をご紹介します。だ  
けませんか？

◎医師

在宅医療に関心のある方

◎薬剤師

夜診療勤務ができる方

◎常勤訪問看護師

◎非常勤作業療法士

◎介護福祉士

詳細は西濃医療生協 中村まで  
電話 0584 923268

新入職員紹介

しずさとデイサービス

介護福祉士

西田 にしだ 智巳 ともみ



娘が病棟看護  
師として働  
いていたこと  
に影響を受け  
て50歳を過ぎ  
てから介護職を  
始めました。微  
力ですが頑張り  
ますのでよろし  
くお願いします。

【機関紙編集委員会より】

『げんき』をいつもお読みいただきありがとうございます。医療や介護、日常の暮らしに関わること、身近にあったことなど、機関紙『げんき』への投稿をお待ちしています。投稿は、郵送、メール、FAXでお送りください。

診療所・介護事業所の草取りボラに  
皆さまのご協力をお願いします

日にち 9月24日(日)  
雨天の場合10月1日(日)  
※集合時間はいずれも午前7時  
集合場所 しずさと診療所  
問合先 正岡礼子 27-5957

西濃たすけあい募集中!

- 会員(正会員・賛助会員) 入会金1,000円
- 担い手(有償運送運転手・庭や部屋の整理など)
- 問合先 担当: 山口  
電話: 080-3645-3268  
受付時間: 平日9~12時まで

無料

生活相談

多重債務(破産・再生・任意整理)、離婚・親権、遺産相続、交通事故、労働災害、医療事故、消費者被害、損害賠償など。提携弁護士がご相談をお聞きします。

日時: 9月14日(木) 10月12日(木)

11月9日(木)

場所: しずさと診療所内

○相談時間: 午後2時~3時 ※1件あたり30分

○事前申込みが必要です。本部 0584-92-3268

ウォーキングの会

日にち 10月16日(月) 雨天の場合10月30日(月)

場所 伊吹せんろみち(滋賀県米原市)

伊吹山の石灰岩を運び出すために大阪セメント伊吹工場から近江長岡駅まで敷かれていた線路の跡。1999年まで使用していたが、今は廃線となり遊歩道になっています。

歩行距離 片道3km

集合場所・時間 しずさと診療所 8:30

持ち物 弁当、水筒、雨具、運動靴

※会費200円+交通費300円

問合先 杉野茂樹 0584-34-1817

梅村民雄 090-4232-9057

山楽会

日にち 9月18日(月・祝) 雨天中止

場所 賤ヶ岳(余呉町 標高421m)

江土登山口(余呉湖観光館)から山頂まで片道4.2kmの尾根歩き往復。頂上から琵琶湖・余呉湖を望む大パノラマが楽しみです。

健脚度 初級の上(最後の登りがきつい)

歩行時間 約4時間

集合場所・時間 しずさと診療所 7:30

(大垣帰着 16時30分)

持ち物 弁当、お茶(500ml×2本)、雨具、杖など

※会費200円+交通費600円

日にち 10月23日(月) 雨天中止

場所 夜叉ヶ池

(揖斐川町/南越前町、標高1,100m)

山頂付近にありながら満々と水を湛える神秘的な雨乞い伝説の池です。

健脚度 中級の上(ロープ・鎖場登りあり)

歩行距離・時間 6km 約4時間

集合場所・時間 しずさと診療所 7:15

(大垣帰着 17時30分)

持ち物 弁当、お茶(500ml×2本)、雨具、杖等

※会費200円+交通費800円

問合先 梅村民雄 090-4232-9057

杉野茂樹 0584-34-1817

※日程は変更する場合があります。 詳細は、問合先までお尋ねください。

**赤坂支部 健康サロン**  
**「民謡&津軽三味線」あ・うんの会**

日にち 9月27日(水) 10:00~11:30  
 ※今月は第4水曜日に変更させていただきます  
 場所 岐阜大学旧早野邸セミナーハウス  
 奏者 高橋博人さん 他  
 問合先 宇津 0584-91-2379 大谷 0584-91-6049  
 高瀬 0584-71-4409

**大垣中央支部**  
**健康講座「漢方薬を正しく知ろう」**

日にち 10月7日(土) 10:30~11:30  
 場所 大垣市南公園運動場管理棟(野球場の西側)  
 講師 粕谷志郎医師(しずさと診療所医師)  
 問合先 禾森町4班 松岡恵子  
 Tel/Fax 0584-78-5714 携帯 090-5854-6428

**グラウンドゴルフで楽しく健康づくり**

実施日 9月14日(木) 22日(金) 28日(木)  
 10月3日(火) 12日(木) 17日(火) 26日(木)  
 11月1日(水)  
 ※時間はそれぞれ12時半から  
 場所 三城公園 ソフトボール場  
 問合・申込先 河村秀一 090-5450-3227

**健康委員会**  
**第3回スクエアステップ体験&交流会**

日にち 11月2日(木) 10:00~11:30  
 場所 大垣市老人福祉センター(大垣市寺内町)  
 持ち物 汗拭きタオル、飲み物  
 運動できる服装、靴下着用  
 ※会場利用条件のため、大垣市在住・60歳以上の  
 方が対象です。  
 申込先 組合員活動部(松岡) 090-1989-4254

**しずさと診療所 診療案内**

内科・外科・整形外科・リハビリテーション科

**診療医師体制変更のお知らせ**

●9月の医師体制

		月	火	水	木	金	土
8~9時	検査	柄澤	柄澤	—	柄澤	柄澤	—
9-12時	第一診	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	阿川	※2
	第二診	岡野	岡野	岡野	岡野	岡野	—
	第三診	粕谷	—	粕谷	—	※1	—
14-17時	訪問診療	柄澤 岡野	柄澤 岡野	柄澤 岡野	柄澤 岡野	柄澤 岡野	
17-19時	第一診	塩澤		泉		柄澤	

9月以降、塩澤医師が新しく加わり、月曜日の夜診が岡野医師から塩澤医師に変更になります。

●10月からの医師体制

		月	火	水	木	金	土
8~9時	検査	柄澤	柄澤	—	柄澤	柄澤	—
9-12時	第一診	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	阿川	※2
	第二診	塩澤	阿川	粕谷	岡野	粕谷	—
	第三診	粕谷	—	—	—	※1	—
14-17時	訪問診療	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	
17-19時	第一診	塩澤		泉		柄澤	

岡野医師が木曜日(週1日)のみの診療になり、午前診療の担当医が上表のように変わります。

※1 金曜日の第3診察室

柄澤医師が検査(胃カメラ・エコー)を行います。

※2 土曜日の診察

第1・5は柄澤医師が担当します。

第2・4は岡野医師が担当します。

(10月より泉医師に代わります)

第3は松井医師が担当します。

<医療・介護のお問い合わせは>

▼しずさと診療所

診療 電話 0584-93-1170 FAX 0584-93-1169  
 リハビリ 電話 0584-93-1179 FAX 0584-93-1169  
 〒503-0982 大垣市久徳町153-1

▼デイサービスひのき

電話 0584-93-0310 FAX 0584-93-0311  
 〒503-0981 大垣市検町706

▼介護センターしずさと

電話 0584-91-3912 FAX 0584-93-1151  
 〒503-0981 大垣市検町1452

- ・介護支援センター 0584-93-1171
- ・デイサービスセンター 0584-93-1172
- ・訪問看護ステーション 0584-93-1173
- ・ショートステイ 0584-93-1175

▼しずさと介護支援センター不破事業所

電話 0584-71-7311  
 〒503-2100 不破郡垂井町地藏1-105